

OCTAL TDC (Time to Digital Converter)



《概要》

- ◆時間—デジタル変換にはウィルキンソン型を採用し、
時間に応じてチャージされる
電荷はコンデンサから一定の割合で放電され、この間発振器からの
クロックパルスはスケーラによってカウントされます。
最終的カウントは測定された時間間隔に比例するようになっています。
- ◆8チャンネルで構成され、12bitの分解能を持っています。
- ◆モジュール側面のスイッチにより、フルスケールを100、200、500nSに
設定することができ、その分解能はそれぞれ1カウントあたり25、50、125ps
になります。

《仕様》

- ◆入力NIMレベル・インピーダンス50Ω・パルス幅5nS (CLEARのみ50nS)
- ◆変換時間：0.025μS×フルスケール・カウント+1μS
- ◆分解能：25ps(F.S 100nS 時)・50ps(F.S 200nS 時)
125ps(F.S 500nS 時) * F.Sはフルスケールの意
- ◆出力CAMACバスによる13bit出力(13bit目はオーバーフローフラッグ)
- ◆CAMACファンクションは下記の通りです。
F(0)・A(n) : Read Data
F(2)・A(n) : A(0)~A(6)はRead Data A(7)はAll Channel Clear
F(8)・A(n) : Test LAM
F(9)・A(n) : System Clear
F(10)・A(n) : Clear LAM
F(24)・A(n) : Disable LAM
F(25)・A(n) : Test Module
F(26)・A(n) : Enable LAM * nは0~7 (Nはステーションナンバー)
- ◆Q及びLAMは側面のスイッチにより発生条件を可変する事ができます。
OFF : LAM=0 NORMAL : Q=1 EOC : コンバート終了後はQ=1,LAM=1
E&AN : コンバート終了後は、8チャンネルのどれか1チャンネルでも
オーバーフローしていないときLAM=1,Q=1
- ◆コネクタには標準のレモコネクタを使用しています。
- ◆ケース幅はCAMAC規格の1幅です。
- ◆消費電流： -6V 約540mA
+6V 約870mA
-24V 約75mA
+24V 約10mA



株式会社 カイズワークス

〒190-1222 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原9-18

Tel : 042-568-0866

Fax : 042-568-0867

E-mail kaizuwks@kaizuwks.co.jp Homepage <http://www.kaizuwks.co.jp>